

# 「相模原市国民健康保険診療所条例及び相模原市立診療所条例の改正(案)等」に関するパブリックコメント手続の実施結果について

## 1 概要

津久井地区、相模湖地区及び藤野地区の中山間地域では、高齢化の進行等に伴う通院が困難な人の増加や生活習慣病の重症化等のリスクの増加、人口減少等を背景とした受診者数の減少、医師・看護師等の医療従事者の安定的な確保が難しいことなど、医療に係る様々な課題が生じており、本市では、令和6年2月に「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針」(以下「基本方針」という。)を策定し、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して医療が受けられる持続可能な医療提供体制の確保に資する取組を推進しています。

このような中、基本方針に基づき相模原市国民健康保険診療所及び相模原市立診療所の再編を行うほか、当該再編により市立診療所から国保診療所に移行する診療所について引き続き指定管理者による管理を行わせるため、相模原市国民健康保険診療所条例(平成17年相模原市条例第117号)の改正並びに相模原市立診療所条例(平成22年相模原市条例第5号)の改正及び廃止をするに当たり、市民の皆様からのご意見を募集しました。

その結果、137人の方から185件のご意見をいただきましたことから、意見募集の概要、お寄せいただいたご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

なお、いただいたご意見につきましては、今後の取組に生かしてまいります。

## 2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和6年12月15日(日)～令和7年1月21日(火)
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

### ※ 資料の配架場所

地域医療対策室(市が所管する診療所を含む)、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター(橋本・城山・中央6地区・大野南を除く)、各出張所、各公民館(沢井を除く)、各図書館、公文書館

## 3 結果

### (1) 意見の提出方法

意見数		137人(185件)
内 訳	直接持参	1人(1件)
	郵送	13人(16件)
	ファクス	114人(157件)
	電子メール	9人(11件)

### (2) 意見に対する本市の考え方の区分

- ア：条例案等に意見を反映するもの
- イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの
- ウ：今後の参考とするもの
- エ：その他(今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など)

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
①	市立診療所の廃止	137	－	－	137	－
②	オンライン診療の推進	19	－	－	19	－
③	統合先の診療所の改修等	6	－	－	6	－
④	医療従事者の確保	8	－	－	8	－
⑤	効率化と財政負担	6	－	－	6	－
⑥	健康づくり	2	－	2	－	－
⑦	その他	7	－	1	5	1
合計		185	－	3	181	1

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
①	市立診療所の廃止について		
1	旧津久井地域は少子高齢化が進み、高齢化は3地域とも4割を超えています。それだけに命にかかわる健康問題は毎日直面する大事な問題です。さらに若い人たちが安心して子育てするうえで身近な医療機関・診療所は絶対必要なものです。こういう施設が充実してこそ、全住民が安心して暮らせる町ではないでしょうか。どうか診療所を今のまま残して下さいませよう切にお願い致します。	津久井地区、相模湖地区及び藤野地区の中山間地域では、高齢化の進行等に伴う通院が困難な人の増加や生活習慣病の重症化等のリスクの増加、人口減少等を背景とした受診者数の減少、医師・看護師等の医療従事者の安定的な確保が難しいことなど、医療に係る様々な課題が生じております。  これらの課題に対応するため、令和6年2月に策定した「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針」に基づき、市所管の診療所を、原則として地区ごとに1診療所に統合して再編することにより生み出すことができる資源（医療資源・財源）やICT（情報通信技術）等を活用し、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して医療が受けられる持続可能な医療提供体制の確保に資する取組を推進することが必要であり、診療所を統合して医師2人体制とすることにより、今後の在宅医療の需要増	ウ
2	旧津久井地域は少子高齢化が進み、高齢化は3地域とも4割を超えています。それだけに命にかかわる健康などは、毎日直面する問題です。さらに若い人たちが安心して子育てするうえで、身近な医療機関・診療所が必要です。こうしてこそ街の活性化の土台となります。		ウ
3	旧津久井地域は少子高齢化が進み、高齢化は3地域とも4割を超えています。それだけに命に直結する健康問題は毎日直面する問題です。さらに若い人達が安心して子育てするうえで身近な医療機関・診療所が絶対必要です。こうしてこそ街の活性化の土台となります。		ウ
4	地域住民の命と健康、街づくり、大規模震災などに備えて診療所を残すべきです。旧津久井地域は少子高齢化が進み、高齢化は3地域とも4割を超えています。それだけに命に直結する健康問題は毎日直面します。若い人達が安心して子育てする上で身近な医療機関・診療所は絶対必要です。これこそ住み続けられる街づくり、街の活性化に繋がります。加えて最近の気候変動の中で大掛かりな震災が日本も含めて世界的に頻発しています。震災が起きれば近くの医療機関はどうしても必要です。		ウ
5	私は、2022年頃から、「基本方針案」問題に取り組み、千木良住民の方々と話し合い、その総意は、「既存の診療所の全てにおいて、診療内容等のハード面・ソフト面の改善・充実強化を図り、未来永劫、存続させること」を願っています。私も、同様、その願いを提言し、今後において、その考えの実現に向けて、あらゆる手段を講じて、実現に尽力したいと思います。		ウ

<p>・「梯子（診療所）を外さないで欲しい」</p> <p>過日（2024年度の敬老の日の相模原市長の祝辞）、頂いた心温まるメッセージには、「人生100歳時代への健康寿命」のご留意がありました。市政70年を支えた私達高齢者は、意を強くして、「100歳の頂上」に登ることを決意しました。お願いがあります。私たちの登山中に、絶対「梯子（診療所）を外さない（統廃合しない）」ことを誓って下さい。梯子（診療所）が無ければ、登頂出来ません。</p> <p>・「移住・定住の決め手」は、「診療所」でした。</p> <p>3年前に、東京から移住・定住した方から聞きました。自然は良し、住民は温かく優しい」地域に加えて、身近な所、歩いて行ける所に「スーパーと診療所」あったことが、決め手でした、との事。その方は、市の「基本方針（案）」を知って、愕然としたそうです。中山間地域の「移住・定住方針と診療所の統廃合方針」の矛盾を正し、市政の整合性を図り、現存する診療所のハード面・ソフト面をより一層充実・強化して、引き続き、診療所の存続を、心から希望します。</p> <p>千木良の診療所は、私たち・千木良住民の「いのちと健康」を守るインフラです。とりわけ、乳幼児・児童時代には、身近な・歩いて行ける診療所は、頼れる医療機関です。廃止しないでください。</p> <p>そして、現役を退いた高齢者にとって、フレイルの進行で、不本意ながらも、通院受診を定期的に、せざるを得ない状況の中で、「対面診療とかかりつけ医師」の千木良診療所は、安心・安全治療の要となります。「100歳時代」に向けて、千木良の診療所は欠かせないもので、診療内容の充実強化の上、「存続」をお願いします。</p> <p>そもそも、「千木良診療所」は、誰のものですか？60年余前に設置・開業した「県立県営千木良診療所」は、当時「無医村地区・千木良」の誘致に尽力した住民等のお蔭でスタートしています。その後、行政の変更で、県から政令市・相模原市に移譲されてきた歴史からも、又、憲法上からも「千木良診療所」は、千木良住民のもので、医療サービスは、住民の権利とし</p>	<p>に対応するための体制の充実と、診療所の安定的な運営が図られるものと考えております。</p> <p>相模湖地区の再編については、診療所施設や駐車場の状況、受診者数、千木良診療所の敷地の約6割が借地となっていることなどを総合的に勘案し、内郷診療所へ統合することとしたものです。</p>
--	---

て、享受していることは明らかです。憲法25条第2項には、「国は、(略) 社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」と明記され、社会保障としての「千木良診療所」が、神奈川県によって、設置・開業されています。改めて、国民皆保険の下、保険料を納めている千木良住民、2027年度に、これまで、受診・治療を享受して来た千木良診療所の廃止で、希望する医療を受けられなくなる「医療難民」になる事は、行政として無責任と指弾せざるを得ない。

\* 憲法違反ではないでしょうか？

\* 60余年前の「無医村地区」に、千木良地域を戻すことに反対です。

\* 千木良診療所は、診療内容の充実強化の上、引き続き存続して下さい。

・「条例改正」(案)については、反対です。

「千木良診療所」を統廃合するのではなく、診療所機能の充実・強化して、今後も千木良の地において、第一次救急医療として、「健康と命」を守る砦として、未来永劫 活躍・存続して欲しいです。従って、「条例改正(案)」は、反対です。改めて、「千木良診療所」の存続の上、ITを駆使した「モバイル訪問診療」、「リモート診療」等は、より「千木良診療所」の利用者(患者さん)の利便性を考え、実施して下さい。

・「千木良診療所」の発足から現在までの概要について

「千木良診療所」は、60年余前から、当時の千木良住民の方々のご尽力により、当時の神奈川県が「県立県営」の千木良診療所を開設・設置しました。当時の千木良地域には、「無医村地区」と称され、医療機関は、公営・民間すべてにおいて設置・診療がされていませんでした。与瀬等の他地域の医療機関に、自ら移動手段を確保して外来・通院・受診をして来ました。それゆえに、誘致にかけた当時の住民の方々の強い思い、願望の結果の上に、誕生したものです。

・「千木良診療所」の存続を願う理由・わけ等について

この事については、この間、市長さん宛てに意見・訴え・要望等を綴ったお手紙を添付し、説明に代えたいと思います。

6	<p>歩いて行ける、とてもありがたいです。嫁に来て60年、子供がけがをした、風邪を引いた、すぐ診療所に行ったものです。生活の一部になっていました。今は私が毎月一回薬と健康管理をしてもらっています。なくてはならない診療所です。なくさないで！！なくさないで！！なくさないで！！</p>		ウ
7	<p>「千木良診療所」を存続して欲しい。</p> <p>①当診療所が無くなると、内郷診療所を始めその他の医療機関に通院・外来する事となると、交通費がかかります。更に、通院・外来に時間がかかり、半日から終日、無駄な時間が、発生します。</p> <p>②当診療所がある事で、日常生活において、心に安心を持って暮らせます。無くなると、不安となり、精神衛生上、問題となります。</p> <p>③約50年間、当診療所に、感冒・腹痛等の体調不良から、難治ゆえに他の医療機関への紹介、毎年のがん検診、いくつかの予防接種等お世話になり、お陰で迎えた82の齢となって、今後益々「健康と命」を守るために、頻繁にお世話になることが予想される今に、当診療所が、無くなることは、ひどい仕打ちで、耐えられない事です。人にとって、欠かせない基本的生活要素としての「衣食住」に次ぐ「医：医療機関」は、言葉を代えれば、市民の「生存権」保障として、行政がなさねばならないものです。第1次救急医療としての当診療所の機能は、従って、医療サービスを受けることは、千木良住民の権利で、医療を提供することは、相模原市の義務になります。国民皆保険の下、年金生活の厳しい中、「保険料」を納入してきた中で、今後、受診・医療サービスを受けられない事は、行政の「憲法違反行為」となり、憲法25条に抵触するのではないのでしょうか？</p> <p>以上を持って、「千木良診療所の存続」を強く要望します。</p>		ウ
8	<p>千木良診療所の裏手を散歩していた時のことです。</p> <p>新築の家から若い方が出ていらし、目が合い、会釈を交わしました。「こんにちは、若い方が引っ越して来てくれ、とても嬉しいです」と話し掛けてみました。相手の方も「ここは自然の中で子育てが出来、近くに学校、小さなスーパー、診療所も有り、心強いです」と話していまし</p>		ウ

	<p>た。</p> <p>千木良はここ何年か新築の家が増え、活性化にずいぶん寄与していると思います。千木良に住む理由の中に診療所が有るとい条件が大きな魅力となっているのは事実です。小学校も統合の方向などという話も聞きます。診療所が遠くへ行ってしまうのは千木良の魅力が半減してしまいます。</p> <p>古くから住んでいる人達も歳をとっても診療所が近くにある事が大きな安心となっていると思います。</p> <p>私達の命を守る診療所をぜひ残していただきたいです。</p>	
9	<p>行政機関による差別？だれもが同様に安心して医療が受けられるべきと思う。</p> <p>診療所機能は慢性的疾患対応の場所と思ってませんか？症例数は多くはないかもしれないが、私が在籍（看護師として）いた時、糖尿病の方が急性患化し家族から連絡を受け駆けつけ救急対応したが救急車による搬送で受け入れる病院がなく救急へりにて東海大病院に搬送させ救命したこともあった。いつ何がおこるかわからない（特に高齢者は）それを判断し対応していかなければならないのが医療従事者の使命と思います。そういった意味でも中山間地域の診療の存在は大きいと思います。存続すべきと思います。</p>	ウ
10	<p>学校診療所（病院）は人間の生活する為に必要最低限です。唯一の頼みとしている診療所がない私達老人病人を捨てるつもりですか！！その様な所に若者は来ませんよ。無くすのでない方法なかったのでしょうか。自分の足で歩いてゆける診療所（それが診療所なのです）村、町の発展をお考えならば無くすのではなく、診療の経営方針？をお考えください。度々医者が交代（せめて内科、外科のドクターが居て欲しい）、診療所を気楽に使える交流の場所にしたり、ドクターのお話を聞いたり（長生きの方法）等々使い方は色々あると思います。無くす事ではなく、使い方を考えて下さい。若者、馬鹿者、よそ者が居る所が発展するらしいですよ！！</p>	ウ
11	<p>千木良診療所が千木良から無くなるとの話を聞き耳を疑った。何で何んで、どうして？と考えれば考えるほど千木良の住民のこと何んだと思っている？保育園は無くなり、公民館も二か所あったものを取り壊し使い勝手の悪さなどまったく考えていない。冷酷人間のすることとし</p>	ウ

	<p>か思えない。住み良い街づくりに力を入れると市長はそう言ってもとむら市長に成ったのでしよう。もとむら市長になってから千木良の里から公共の施設が消えるのは何故？昔から私が子供の時から有る何十年も続く診療所を住民の意見も聞こうともせず無くす？</p> <p>年寄りが内郷までバスに乗り又歩いて行くのは無理。市長も年寄りの気持ちに寄り添い、何kgもの重りを身体に付けバスと歩いて内郷まで歩いてと実際に住民の立場に立って現地を調べるのも市長の役目だと思う。千木良診療所を私達住民から取り上げないで下さい。命を切られる思いです。私達に希望を持って生きて行ける様、私達の地から公共施設を取り上げないで下さい。本当に悲しいです。切々な思いでこのお願いのペンを走らせています。</p>	
12	<p>どうして旧津久井の住民の人たちが反対しているのに診療所の統合を進めるのですか。オンライン診療といっても我々年配者には心配事ばかりです。今のままの診療所で十分です。不自由していません。内郷診療所に統合しても、診療所の施設も変えなければ今のままでは狭すぎると思います。診療所を残し、医療の充実を考えて下さい。</p>	ウ
13	<p>住民の高齢化が進む中、病院、診療所が増えてあたりまえの所、減らすとはどのような事なのでしょう。健康で文化的な生活を保障するために、まず税金を第一に使って下さい。そのための政治を切に願います。診療所の条例改正案は弱いものいじめに他なりません。</p>	ウ
14	<p>人生100年時代と言われている現在、健康寿命を保持する為にも、日頃、身近で安心して通院できる診療所は絶対必要です。存続をお願いします。相模原赤十字病院の件もどうなってしまおうのか心配しています。山間地域の住民の生命を守って下さい。</p>	ウ
15	<p>「2025年問題」と以前から騒がれておりますが、それが現実になりつつあります。市はいったい何をしたいのかさっぱりわかりません。緑区内でも津久井・相模湖・藤野の中山間地域だけをとり残しておいたままやりたい放題に不満を覚えました。医療体制も十分とはいえない状況にまで追い詰められて、地元住民の一人として、感じてます。</p> <p>地元にも1つでも医療施設があつてこそ。豊かな生活や暮らしが送られるのはどの世代も同じです。</p> <p>「1 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」</p>	ウ

	<p>「2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」（日本国憲法第25条）</p> <p>上記の文は、ご存じのとおり、生存権を意味します。国が果たすべきとはいえ、市もそれに従って、市民のために暮らしやすくしなければならないのです。市は把握しているのでしょうか。4月には政令指定都市になり15年が経過しますがその先、生活も暮らしも不安なことには変わりありません。</p> <p>診療所統廃合は決定したとはいえ、統廃合は撤回してください。私たち市民にとって医療は身近な存在です。若者世代に負担が増えるのもこれからの時代です。少しでも負担軽減のため、地元で最低でも1か所は、医療施設を残すべきです。</p> <p>家族の者が、千木良診療所を利用した際、「ここがあったから救われた」と話していました。正に、診療所の有無だけでも生活への影響には差がつくことを、市側にきちんと理解してもらって、今回の市の方針を決めるべきです。</p>	
16	住民のために何とか考えていただけませんか。命がかかっています！	ウ
17	旧津久井地域は少子高齢化が進み、過疎化も進んでいます。高齢者にとって診療所が身近にあることがどれだけ大切か。命にかかわることです。そして若い人にとっても、安心して子育てするうえでも診療所は必要です。医療機関の存在は街の活性化の土台でもあります。診療所の存続を切に望みます。条例改定を急がないでください。	ウ
18	指定管理でも市立を廃止することは、地域の大切な医療体制を確保するためにも反対です。いま、インフルも流行ってる中、コロナも完全に終息してない中、中山間地域における市民の身近な診療所を廃止することは、救急車でも時間かかるし命に関わる問題なので、障害や児童、高齢、医療的ケアの必要な人が大病院にいかなければいけないと、東京都八王子のようになります。統廃合に反対します。	ウ
19	私は90歳。できるだけ長生きしたい。診療所を残してもらいたい。あるだけでも心強い。だから条例化はダメです。	ウ
20	診療所を残してほしいので「廃止」のための条例化をやめてください。	ウ

21	私達家族は35年程前に夫の故郷相模湖に引っ越して参りました。豊かな緑に包まれ、穏やかな人々に囲まれ子ども達もすくすくと育ち成人となりました。現在は私たち二人の生活です。今のところ二人とも車運転。どこにでも車で出かけられますが具合が悪くなっても歩いて行けるところに診療所があることで私たちは安心して生活できます。若い人達も安心して子育てするのに診療所は必要です。条例改正の必要はありません。よろしくお願い致します。	ウ
22	高齢者の多い地域です。身近な診療所が統廃合されることに反対です。元気に暮らせる毎日と言いながら市の方針は反対に進んでいます。安心して過ごせる日常が少なくなるばかりです。市の施設も利用するのに手続きが面倒で活動も億劫になる。金融機関も減る。高齢者が安心して集える場所もない。そして診療所は命に直結する所なのに・・・	ウ
23	後期高齢者が多いので千木良診療所を続けて欲しいですので、条例改正はダメです。	ウ
24	診療所をなくさないで欲しい。条例改定を急がず、もっと検討してください。	ウ
25	近くにあるので安心しています。遠くになったらガマンしてしまい、病気が悪化してしまいます。どうしても残してください。	ウ
26	リニアがなくても人は暮らせます。テレビがなくても人は暮らせます。車がなくても人は暮らせます。…この様な事例は、枚挙にいとまがありませんが、命につながるものは、大事にして欲しいと思います。人は暮らし（日々のささやかな）を成り立たせる一つとして、毎月、毎年税金を払って来ました。市民の義務だと思って。これが命につながる最前線である病院の統廃合、今回は医療施設の乏しい中山間地域の診療所などの統廃合は、この地域に住む住民にとっては命を軽く見られているということです。市の大事な予算を、暮らしを成り立たせること、命をつなぐことへ増やして欲しい。これこそが血のつながる政治です。政策を立案し、実行する立場の方々、政治の基本へ立ち戻ってください。旧津久井地区の診療所の統廃合に反対します。	ウ
27	私の近くには、日赤病院や森田病院等がありとても助かっていますが、もしなくなったらどんなに困るかと思うと決してひとつごととは思えないのです。人々の生活の支えである診療所は減らしたりなくしたりしないで欲しいです。	ウ

28	診療所の統廃合は、子育て世帯や高齢者世帯が安心して暮らしができる最低限の条件であり、反対である。	ウ
29	<p>中山間地の診療所の統合・廃止は医療分野の問題にとどまらず、他の公共的な施設の移転や廃止と同様に、地域の暮らしをますます不便にし、人口流出と過疎化に拍車をかけ、地域をさらに廃れさせ、中山間地域の存続そのものを困難にしてしまう恐れがあります。</p> <p>市は中山間地域への移住促進の事業に取り組んでいるとのことですが、人口の流出と減少に悩む全国各地の自治体が移住者を迎え入れようと躍起になっている状況の下で、商店や公共施設が次々に消え、公共交通の便数が減り、日々の生活の基盤が崩れつつある地域に、子育て世代の人たちや若い人たちが大勢移り住んでくるとはとても思えません。</p> <p>千木良診療所の統合・廃止は、地域の存続にかかわる問題でもあり、地元で暮らす人にとっては死活問題です。医療の持続化や効率化の名目で、地域の中核的な公共施設である診療所をなくしてしまうべきではありません。</p>	ウ
30	千木良診療所は絶対なくなると困る人がたくさんおります。全体なくさないで下さい。	ウ
31	診療所がなくなるとはどういうことか。生きていくためにはどうしても必要だ。政令指定都市なのにどうして病院が減るのか。	ウ
32	診療所統廃合、困ります、反対です。安心して住めると思っていたのにこれから先どうしようかと思ってしまう。	ウ
33	私は千木良に住んで50年、引っ越してきた当時は診療所もあり学校、保育園、店も数軒ありで暮らしに困らないところでありました。今は一人暮らしです。	ウ
34	正月明けぐらいから風邪かなと思いき診療所へ行き、インフル、コロナの心配のせいか外で待つよう言われ10分以上待たされました。幸い熱もなく咳だけだったので薬だけいただき帰りました。私のように一人暮らしで車もない、バスも少なくなりとても心細いです。	ウ
35	どうか診療所をなくさないでほしいのです。	ウ
36	医療を必要としている高齢者や子供の急な発熱にもすぐに対応してくれる診療所です。千木良にはなくてはならない場所です。どうか私たちの地区から医療を取り上げないでください。	ウ

37	幼いころから体調不良の時はすぐに受診でき安心して暮らせていました。結婚し千木良で子育てをしながら息子もお世話になってこのまま、ずっと診療所があるもので思っていたのに、、、	ウ
38	千木良は保育園も無くなり、小学生も少人数、診療所は今後なくなるかもしれない。	ウ
39	そんな地域に住みたい人がいるのか不安です。やまからのぼる朝日を見て、西に沈む夕日や一番星を大好き家族と眺めて過ごした日々がこれからも変わらず続いてほしいと願っています。大切な千木良を千木良の姿を変えないでください。	ウ
40	歩くのがたいへんで遠くへ行けないのでなくなるとこまります。	ウ
41	「診療所をなくさないでほしい」生まれてから57年、赤ちゃんかの頃から通っています。1600gで生まれ、何度となく診療所にはお世話になりました。保育園、小学校、中学校、今、大人になっても持病もちで、月に1回通わせてもらっています。	ウ
42	この千木良診療所をまかなえないほどに市の財政がひっ迫しているのですか。千木良は金融機関も撤退していて、もう千木良には診療所くらいしか残っていません。これで病院が無くなれば千木良には何もありません。 新しい病院に行くにも交通手段の在り方、患者の受け入れ体制などの保証ができるのですか？それが保証できないのであれば、「千木良診療所を残していただきたいです。」そして高齢化も進んでいて、相模原市は高齢者にやさしい町ではないのですか。	ウ
43	年齢79歳。あと一年後に運転免許を返納したいと思います。	ウ
44	一人暮らし。今、その後の生活に不安を感じています。バス代の値上がり、急な体調のわるくなった時の医療を望みます。	ウ
45	中央区、南区の予算を緑区にまわせば存続できるのでは？	ウ
46	歩いて行ける場所なのでなくさないでくださいお願いします	ウ
47	近くにあるので診療所をなくさないでくださいお願いします	ウ
48	高齢になり近くに診療所が無くなるとこまる。診療所を残して欲しいです。	ウ
49	千木良診療所は千木良住民にとって欠かす事の出来ない医療機関です。子供にとっても、青年男女にとっても、中年にとっても、そして高齢者にとってもすべての住民にとって「健康とい	ウ

	のち」を守る城でもあります。今後も住民一人になっても千木良診療所を残して下さい。”命＝いのち”は、最高の価値です。	
50	旧津久井地区の医療機関はいまでも不足である	ウ
51	私は診療所だけお世話になっています。92歳になりました。なくなったら困ります。	ウ
52	歩いて行ける千木良診療所は大変便利です。体調不良を感じて受診すると安心して帰宅できます。ちょっとした事でも通院できる千木良診療所はなくさないで下さい。60年前の無医(村)地域にしないで下さい。	ウ
53	ベビーブームの高齢者が増えてくるのに自分の足で歩いて行ける診療所を何故なくすんですか？人生100年とかけ声かけておきながら希望をなくさせるひどいことです。住民の願いに耳をかたむけてくれる議員さん何故無関心なのですか。助けてくれないんですか？絶対千木良の診療所がなくさないで下さい。お願いします。	ウ
54	子育てで千木良診療所にお世話になりました。今度は高齢を迎えた私自身がお世話になっています。近くにあることで安心しています。引き続き千木良診療所を存続させて下さい。	ウ
55	まず抜本的な考えとして、医療機関は地元の方にとって少しでも近所にあるということが安心感が持てる建物だと思います。それを 遠い場所に統合するという事は、地元住民方にとって将来的ずうと不安な生活を考えると地元の方の考えも第1 考えて行政は行動してもらいたい。	ウ
56	中山間地にすむ私達も相模原市が弱者にも住み良い町と思えるよう、～医療～命にかかわること～の充実した便利な所となる様望みます。	ウ
57	診療所を減らさないで下さい。	ウ
58	高齢になり、車の運転をしなくなった時こそ、少しでも近くに診療所がほしいです。	ウ
59	症状が軽くても、気になるうちに診て頂ける診療所は大切です。未病や軽いうちに治すほうが、本人だけでなく、医療費も安くすみます。	ウ
60	市長さんは、1人も取り残さないと何度も表明されていますが、診療所を減らすことは近くの人にとって「切りとられた！とり残された！」の気持ちを強くします。回数を減らす、週に3	ウ

	回等でも良いですので、全部なくすことだけは、やめていただきたいと思います。	
61	高齢化が進んでいます！身近に診療所はぜひたいに必要です。診療所をなくさないで下さい。	ウ
62	これからここで生活して行くには、身体が大切。それを守るための診療なくしてはなりません。なくすとは何事だ！	ウ
63	大切な身体を守るための診療所、近くにあるからこそ、安心して住めます。住人の事を第1に考えて下さい。なくさないで下さい。	ウ
64	家族全員インフルエンザにかかってしまった時も近隣にある診療所で診てもらい助かりました。子供がケガをした時も終了時間ギリギリにもかかわらず処置をしてくれたりと何度も助けられました。安心して子育てが出来る環境をうばわないで下さい。診療所はなくては困ります。	ウ
65	近くに診療所がなくなると、少しの体調不良だと見過ごして大変な事になってしまう方が増えると思います。体調が悪いのにバスに乗ったりできません。タクシーだとお金もかかります。現に私の父と母は診療所で心筋梗塞を発見してもらい命を助けていただきました。子供も学校から帰って来てからでも受診することができます。なくす事ばかり考えず、どうしたら残せるかを考えてほしいです。高齢者の方々は特に困ると思います。田舎の暮らしを体験していただければわかると思います。どうか存続できます事をご検討のほどよろしくお願いします。	ウ
66	どうして貴重な千木良診療所をなくすんですか？医師の負担を軽くし、資源節約のためSDG s 持続可能な一番適切な方法が千木良をなくし住民を不安にし苦しめるんですか？同じ地域で内郷と千木良を比べてみて、不平等で、格差社会です。医師がしょっちゅう変わり、不安な患者が他に移れば、患者数が少ないからと理由にされては納得出来ません。団塊の世代の老人が増えるこの時期に何故なくすんですか。時代に逆行です。千木良住民を路頭に迷わせないで下さい。千木良住民も大切な相模原市民ではないでしょうか？誰一人とり残さないで下さい。	ウ
67	相模原市立千木良診療所（相模原赤十字病院）今のままで良い。改正しないでください。私達の親族が過去、必要に迫られて今の神奈川県立千木良診療所を創立させた。そこに、親族はもちろん、私も、子供達も、家族の健康維持管理と流行性インフルエンザをはじめ、病気になら	ウ

	ない為の施術を受けてきました。今、この辺りに高齢者が多く、私はじめ医療機関が必要なのです。こんなに身近にある千木良診療所は必ず必要なのです。いろんな案もあるようですが、必要なのです。千木良診療所は、私達に絶対必要です。		
68	誠に残念です。津久井、相模湖、藤野特に6か所ある診療所を3か所に削減する計画です。高齢化・人口減少・医療従事者の確保が難しいとして、中山間地域にて市の説明会が本村市長、副市長も来られて数回行われました。どの会場でも地域住民の反対意見（千木良診療所が近くにあるから引っ越して来た方、近くにあっている等）が多く出ましたが、市は計画通りに行くということでした。遠くに行くことは高齢者、子どもが熱が出た時等大変です。近くに診療所があると便利です。広い地域での診療所削減は今でなく、10年後考えてください。人口がぐんと減った時に住民と共に考えたら、新しい医療体制が生まれるでしょう。		ウ
69	診療所廃止は絶対困ります。高齢になると運転免許も返納するでしょうし、バスの本数もないし、往診も新規患者は受けてもらえない。オンラインでも皆が使えると思えません。	津久井地区、相模湖地区及び藤野地区の中山間地域では、高齢化の進行等に伴う通院が困難な人の増加や生活習慣病の重症化等のリスクの増加、人口減少等を背景とした受診者数の減少、医師・看護師等の医療従事者の安定的な確保が難しいことなど、医療に係る様々な課題が生じております。	ウ
70	標記条例の改正（案）は診療所の統廃合について、住民の合意が得られているとは思いませんので、改正には反対します。 高齢化が進む中で、車も手放し食料や日用品の買物にも苦労している方がおおぜいいます。そうした状況の中で体の具合が悪くなった場合、近くにある診療所が統廃合で遠くになってしまえば、通うのも大変で診療を諦めざるを得ないことにもなります。		ウ
71	中山間三地域の診療所の統廃合は地域性からしても通院に無理が有ります。車に乗れない高齢者や学生、送迎できる人が家族に居ない場合、現在の交通事情では通院は難しいです。		ウ
72	お年寄りの方が多い千木良には、一人暮らしで車もない方もおり診療所が無くなれば医療を受ける機会が減り、体調の維持が困難になる方が増えてしまいます。交通機関のさらなる充実が確保されるまでは千木良に診療所を残してくださいませよう切に願います。 どうかご再考をお願い申し上げます。		ウ
73	現在進行中の診療所統廃合案に関して、地域住民として強い懸念を抱いております。過疎地では高齢化が進んでおり、医療需要が増加していますが、医療施設が不足しているため、今後、		ウ

	特に高齢者が十分なケアを受けることが困難です。このような状況の中、医療施設を統廃合することは住民のニーズに反することです。住民の健康と安全を守るためには、診療所の統廃合ではなく、医療アクセスを維持・向上させるための方策を優先していただきたいと考えます。行政のコスト削減策が地域住民の生活や健康を脅かすことのないよう、慎重に再検討していただきますようお願い申し上げます。	を活用し、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して医療が受けられる持続可能な医療提供体制の確保に資する取組を推進することが必要であり、診療所を統合して医師2人体制とすることにより、今後の在宅医療の需要増に対応するための体制の充実と、診療所の安定的な運営が図られるものと考えております。 中山間地域における移動手段の確保については、通院のみならず買い物や日常生活全般における地域全体の課題として捉える必要があることから、関連する交通や福祉の政策と一体的に取り組む中で、「地域おでかけサポート推進事業」等の既存の移動支援策の活用を促進するとともに、その対応に努めてまいります。	
74	年取って近くの医者でないと行けません。困ります。		ウ
75	高齢者は歩いて行くので近くに診療所が有るのはとても助かるのでは。あちらこちらで耳にするのは千木良診療所がなくなったら本当に困るという言葉です。私自身は今は車に乗っているが、いつまで乗れるかその際はやはり近くに診療所がないと困ります。		ウ
76	千木良～内郷診療所に行く、交通の便が悪い。バスで行く場合、バスの本数が少ない。診療所からバスの停留所までの距離が遠い。		ウ
77	中山間地域は交通不便地域が多く、住民が総合病院に通院することがとても困難で、身近にある診療所は住民の命と健康を守る砦です。診療所の統廃合は、絶対にしないよう求めます。いつまでも車は運転できません。病院に行く場合は乗り合いバスそして路線バスに乗りかえて行く事になります。タクシーを使う場合はかなり高額になってしまいます。		ウ
78	近くに診療所があったのに無くなるなんて困ります。老人が益々多くなるので病院（診療所）がどうしても必要です。車が乗れなくなったら遠くには行けず、結局病気を悪化させます。命を守る事を大事にしてください。		ウ
79	後期高齢者には身近な所で診療していただくことが第一。現診療所を残してもらいたい。※通院困難		ウ
80	後期高齢者は移動することが困難。身近な所で診療することが第一。現診療所を残してもらいたい。		ウ
81	千木良診療所の内郷診療所への統廃合に関して 千木良地区に於いても今後益々高齢化が進み、バスによる移動手段もその本数が限られている		ウ

	現状にあります。自家用車を所有し、緊急時に病院にかけつけられる方々はそれ程、不自由、不便を感じることはないと思いますが、車を持たない方々はそれがありません。 従って、千木良地区に於いて、是非とも診療所を存続して頂き、そのように不便を感じる方々の要望に応じて頂けますことを切に願うものであります。	
82	通院手段をもたない子どもや高齢者の医療環境を維持する為に、その切実な声を聞いてほしいと思います。	ウ
83	自動車免許証を返納した後の統廃合された医療機関への通院手段を考えてほしいです。	ウ
84	近くあるので安心ですが、なくなったら困ります。診療所を残してください。送迎の考えはないですか。	ウ
85	中山間地域の住んでいる高齢者が年々増加し高齢者は約40%になっています。身近な場所に診療所がある事によって安心して暮らせる条件の一つです。統合したときの診療所へ通う交通問題も大きな課題です。診療所を残し施設と医療内容の充実を進めてほしいです。 この条例は現在中山間地域にある6か所の診療所を3か所に統廃合するためのものです。統廃合を前提とした条例の改定は行わないでください。	ウ
86	今ある診療所をなぜ無くすんですか。これから高齢者が増え、運転ができなくなれば遠くまで行かれません。近くにあって安心です。千木良の人たちは大変だと思います。	ウ
87	私も90歳になり診療所に行くのにも大変になります。与瀬の梶原医院、三ケ木の森田病院のように送迎などをするようになれば、中山間地の診療所の条例改正などしなくても良いと思います。私は2月25日免許証を返納する予定です。	ウ
88	高齢者になるにしたがって遠くの医療機関に通院するのはとても大変です。	ウ
89	子どもが小さいころから利用させてもらった千木良診療所。今は毎月自分が利用させて頂いています。80歳となり交通手段がなく、他の病院に行くことはできません。私はどうしたらよいのでしょうか。中央ばかりが相模原ではありません。山間部に住んでいる私たちも同等です。千木良診療所を残してください。切に願います。	ウ
90	千木良診療所を残してほしい。	ウ

	<p>内郷診療所の利用となった場合、通院手段はバス利用となるが、バスの本数が年々減少しているので、行きは時間の調整ができ良いが、帰りのバス利用は支障が起る。以前、ワクチン接種で受診したことがあり、予約の時間に行ったが、待ち時間もあり、接種後も会計が終わるまで、時間がかかった。体調の良いときだったので良かったが、待合室のイスも足りず疲れてしまった。</p> <p>カゼや発熱や体調のすぐれないときの受診を考えたとき、通院手段や診療所の運営状態を思うと、とても通院は不安が大きく、大変難しい。Drの増員があったとしても難しいと思う。</p>	
91	医療機関巡回バスを運行してほしい（三ヶ木⇄内郷⇄与瀬⇄千木良 等）	ウ
92	私は高齢の一人暮らしです。診療所には1ヶ月に1度行き診療し、薬をもらって帰って来ます。今は歩いて行きますが内郷にはバスを利用するしかありません。1時間に1本です。市長さんには千木良地区の状況をもっと知ってほしいです。診療所の統合はやめて下さい。お願いします。	ウ
93	通院するための公共交通機関の神奈中バスの運行本数も少なく、体調が悪い高齢者が遠くまで診察を受診するために行くのは無理。	ウ
94	<p>中山間地域はこれからますます年寄りが増えしかも遠くの診療所へ行くにも交通手段のバスの本数も減って行く現状では身近の医療機関が必要であるのは言う可くもないことである。内郷診療所へ統合するというが車に人手をそちらに増し、又巡回診療も行うというがそれで本当に行き届くのか。</p> <p>単に予算がないことで容易に地域を切り捨てるのは政治の傲慢であろう。乏しい予算の中をやり繰りするのが政治の本ではないか。</p>	ウ
95	千木良地区は、バスなどの公共交通も少なく、車を所有していない人もいます。体調を崩してしまった時など診療所がなくなってしまっは困ります。安心して生活していく為にも、診療所の存続を願います。	ウ
96	千木良には医療機関が少なく、千木良診療所がなくなると遠方へ足を運ぶ必要が生じてしまいます。それができない、もしくは困難な方は受診する機会が損なわれてしまうため是非診療所	ウ

	の存続をお願いします。		
97	最近、千木良に引っ越してきた子育て世帯なのですが、近所に医療機関が少ない為、何かあった時にすぐ行ける千木良診療所があると安心です。また、なかなか遠くの医療機関に行くことが出来ないご高齢の方も、安心して生活していく上で身近な診療所はなくてはならない存在だと思います。診療所の存続をお願いいたします。		ウ
98	高齢者の患者さんの多い診療所なので、無くなってしまうと交通機関も不便な場所の為、通院に困る方が多いと思う。		ウ
99	車の運転も出来なくなるので診療所は残してほしいです。		ウ
100	相模原市に合併し、政令市になって14年になります。町から市になり暮らしやすい地域になると期待しました。その時は、診療所がなくなるとは夢にも思いませんでした。年々、高齢者が多くなり、運転免許証も返納する状況です。公共交通も不便で、バス停まで歩くのも困難です。地域内も巡回し、診療所に送迎する専用車は不可欠です。		ウ
101	診療所の統廃合で待ち時間の拡大が懸念 私はかかりつけ医として内郷診療所にお世話になっていますがこの診療所の待ち時間が半端ではありません。体調が悪いから「診てもらう」ために診療所に来ているのに長い待ち時間は余計体調を悪くしかねません。この事は内郷診療所の医師をはじめ職員、患者が共通して悩んでいることです。これに千木良診療所の少なくない患者、方々来院すれば一層の混雑、待ち時間が長くなることは避けられないと思います。市の方は「ドクター2人体制にするから大丈夫」と言われますが増えた1人のドクターはオンライン往診などが中心になる分担でしょうから懸念は払しょくできません。	診療所の再編に伴う混雑等への対応につきましては、統合後の診療所を医師2人体制にすることにより、医師2人が同時に外来診療を行う時間帯が設けられるなど、待ち時間の解消にも資する柔軟な体制づくりが可能になるものと考えております。 また、受診後の会計事務等が円滑に進むよう、機械化やICT（情報通信技術）の活用による事務の効率化を図ることなども、引き続き検討してまいります。	ウ
102	私は内郷診療所が近くですので良いかも知れませんが今でも混んでしまうのにさらに待ち時間が長くなります。		ウ
103	今でも内郷診療所は電話も繋がらぬことが常態化しているのである。		ウ
104	千木良の診療所が無くなることで、ただでさえ混んでいる内郷診療所がさらに混んでしまい診察してもらえなくなると思う。		ウ

105	<p>条例化を急がないでください。私は内郷診療所にお世話になり往診も受けています。大変ありがたく思っております。この度、内郷は残るが千木良など3か所がいずれ無くなると聞きました。「千木良が無くなれば混んで待ち時間が今よりももっともって長くなってしまう」とも聞きました。周りの人も含め多くの住民が診療所を残して欲しいと言っています。この声を聞いて診療所を残し、オンラインなども含め医療体制を充実させてください。</p>		ウ
106	<p>つい先日、千木良地区に住む知人から千木良診療所の統廃合についての話を聴いてくれとの依頼がありました。当然に旧同一町内（相模湖町）に居住する住民としての大まかな情報については聞いており、「医療資源・財政の合理的配分」の検討による方針の策定にはやむを得ない部分もあるな、くらいの認識はあり、あとは当該地域の住民の方にその理由・代替処置を十分に理解してもらおう説明、対応が必要であろうとの認識でした。</p> <p>先の知人の話を伺って痛感したのは、直近にある医療施設の存在（直接利用に拘わらず）の安心感でした。個人にとって一番大事な生命にかかわるものとして、その存在そのものが「安心かつ信頼」（施設、関係者、かつそれを維持する行政）に対する致命的な意味を持つ施設だということの再認識でした。その人も旧千木良村に神奈川県が診療所を設置してくれた時の安心感、喜びについてのことについて語り、それが取り上げられてしまうことへの「怒り、嘆き」について話されるのです。</p> <p>今回、私が痛感したのは、その人（あるいは彼女が代表して提示したことになるであろう）その地域に住む人たちの今回抱いたであろう「(行政あるいは社会に) 見捨てられた感」といった感覚です。</p> <p>対案・説明をみれば、資源の合理的配分という観点から見ればそれなりの対応は考慮されており、やむを得ないとみなされる部分も提示されています。しかしながら今回の例に露わにされた住民の漠たる不安・不満というのは、この後簡単に触れるいまの政治的問題・状況と私はみなします。</p> <p>住民に直接対峙する自治行政が対応し処置してゆかねばならない問題だと解しますので、たまたまの担当者の方の（最終は首長の）最大限の誠実な対応を求めるものです。具体的にはさら</p>	<p>市所管の診療所再編の考え方を含む「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針」の策定にあたりましては、住民説明会や各地区の自治会連合会をはじめとした地域団体への説明を重ねてまいりました。策定後につきましても、その概要を中山間地域の全戸に配布するとともに、診療所利用者懇談会を開催するなど、引き続きその説明に努めているところです。</p> <p>国保診療所への移行・統合に際しては、利用者への説明を含め丁寧な対応に努めてまいります。</p> <p>また、不安の解消に繋がる施策につきましては、地域のご要望に基づき公募市民の参画を得て設置した中山間地域医療検討会において、地域住民及び医療・介護に関わる団体の代表者等との意見交換を行いながら検討してまいります。</p>	ウ

	<p>に時間をかけ繰り返し時間と回数をかけて「説明」し地域住民に誠実さを提示し、了解を求めることしかないでしょう。迂遠なようでもそれが地域行政への信頼を醸成する道だと考えます。高齢化と過疎が進みつつある（旧当町は7000人を切りそうです。平成5、6年ごろか1万3000余人かでした）中山間地に住む住民として「見捨てられた感」、これで大丈夫だろうかの「不安感」は共有する者です。</p> <p>直接関係することではないが、通底するであろう「見捨てられた感」について付け加えさせてもらいます。話を大仰にしますが、米国のラストベルト地帯、中東のガザ、シリアに居住し難民化せざるを得なかった人たちが抱かざるを得なかったであろう「(社会や政治から見捨てられた感)ともつじものであり、また現今の社会を覆っているポピュリズム、ひいては民主主義の危機にもつながっていることも否定できないとみなします。したがってこれまた迂遠で過大な事柄ではありますが、この感覚を消失させていくことが、政治・行政に求められている現今の最大の課題であると考えます。</p> <p>広範な課題を持つ政令市行政から見ればちっぽけな一小地域の問題とみなされることになってしまうのですが、本村市長が何度も顔を出し（頑迷な）住民の悪罵に耐えて説明して納得してもらい、引用が適切かどうかは不明だが「神は細部に宿る」という言葉にあるよう、一小地域も課題に直接対峙して（担当者任せにせず）解決するという意欲、姿勢を見せることが必要だとみなすことです。</p> <p>委員会の諮問等には触れられませんが、「顔の見える関係づくり」（26頁）という表現、「通院困難」高齢者の日常生活維持のための交通手段の確保との表現—これは具体的な案として提示されているとは思えません。また地域に信頼される医療従事者の確保、とか課題は提示されています。討議・説明する中で具体化もできることを期待することです。</p>	
107	<p>「意見について」</p> <p>1、条例改正（案）に反対です。「3地域各2か所の診療所の統廃合」反対です。</p> <p>私の暮らす地域の「千木良診療所」（以下、クリニックと称す）を引き続き、「一次救急」としての医療機関として、其のハードとソフトの両面の改善・充実強化を図り今後、患者・利用者</p>	ウ

の「健康と命」を守る砦として、活動・活躍して下さい。

## 2、反対理由

この間、様々な反対理由を述べさせて頂きましたが、ここでは、「法制度の下の『条例改正（案）』について」の疑義を指摘して、反対理由とします。

### 3、①実体的権利を剥奪する「条例改正（案）」は、違憲ではないでしょうか？

開業の60年余の前から、そしてクリニックから享受してきた「医療サービス」は、開設した神奈川県から移譲された相模原市においても、公・行政の施策の結果・恩恵として与えられたものではなく、県民・市民・国民として、日本国憲法（以下 憲法と称す）に基づいた「権利としての享受」では、ないでしょうか？

憲法25条第一項により、全ての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利が保障されています。社会権としての「生存権保障」が明記されています。併せて、憲法25条第二項により、国は、全ての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない、と「国の社会保障的義務」が明記されています。

従って、クリニックから長年 医療サービスを享受して来た千木良住民とその周辺の住民は、4年から5年前から、突然 始まった「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針」（以下 基本方針と称す）の施策によって、一方的に、「権利として享受してきた医療サービス」を剥奪されることは、「違憲条例改正（案）」では、ないでしょうか？

この間の市の説明では、「対面診療」、「宅診（外来）と往診（訪問診療）」、「かかりつけ医」、「歩いて行ける、身近なクリニック」、「突然の体調不良となっても、安心の受診」、「日々の日常生活上、心の安心を得るクリニックの存在」等々の医療サービスが、クリニックの廃止で失われる事について、代替機能について、内容あるものは、今のところありません。

例えば、内郷診療所への通院の足（通院移動手段）の保障、通院費の保障は、検討中ゆえに回答を得られません。

### ②手続き的権利を無視した「条例改正（案）」は、違憲ではないでしょうか？

この間、市は「懇話会」、パブコメ回実施、4回の住民説明会等（4回目に市長初出席）、「検討

会」、「リモート・モバイル訪問診療」の実証事業等をして「啓発」等に努められてきましたが、肝心の「患者・利用者」から、直接 聴取、アンケート調査等は、実施していません。

「医療サービス」を享受している、当事者中の当事者である「患者・利用者」の意向・要望・意見等を聴かずして、施策案を練り、「基本方針」を決定して、その上で「条例改正（案）」を議会提出することは、患者・利用者の持つ権利「手続き的権利」を尊重せず、無視する施策であり、「違憲条例改正（案）」では、ないでしょうか？

#### 4、その他

「地球温暖化から地球沸騰化への到来」と言われる中で、1995年以降の日本において、「震災・大震災」が、各地で発生し、ハード面、インフラが取りざたされています。

そのような状況から、社会的インフラの「1次・2次・3次救急」医療機関の充実・強化が焦眉となっている時に、既存の「診療所・医療機関」が、目先の理由（その意味は、全く理解不能）で、「統廃合」し、ハード面も含めて廃止にすることは、如何なものでしょうか？

千木良人口（1600人弱）の4割の方が、2回目の署名時（2023年9月）、「クリニック」の存続を望んでおりました。私も署名しました。

私は、国民皆保険の下、「後期高齢者医療被保険者」として、年金から「保険料」を納めています。

ここで、クリニック（千木良診療所）が、統廃合で、無くなった場合、長年 利用・受診をさせて頂いたクリニックが無くなった私たちは、それでも「今後も保険料」を納めなければならないのでしょうか？

自ら選んで住み着いて、終の棲家とした千木良地域に、幸いに 先人たちの「医療機関の誘致」へのご尽力で設置された「神奈川県立県営 千木良診療所」によって、今在る事に感謝しつつも（正直 物足りなさを感じていますが）夜間尿のあと、まんじりともしないまま、夜明けを迎える事があります。

法律等関係は、専門家の方々に伺う外はありませんが、この度の施策（基本方針）は、私達住民にとって、まさに「死活問題」と言っても過言ではありません。

	<p>とりわけ、高齢者の方々から、悲痛なお話等を伺っております。</p> <p>「どうして、分かってもらえないのか？」の恨み言を、口にされます。</p> <p>その上で、市長さん初め担当の方々に、「中山間地域の千木良地域で、1年間、車返上の生活を体験して欲しい」とおっしゃる方々が、多くおられます。</p> <p>意の有るところをお汲み取り頂き、今後の「100歳時代」に向けて、高齢者の方々はじめ、市民皆が安心して、安全に暮らせる「幸せの市社会」を、創り上げてゆきませんか？</p>	
108	<p>私事ですが、運転免許を返納し、歩いて行ける所に医療機関があるありがたさをつくづく感じていきます。</p> <p>方針が決定されたとは言え「診療所を残して欲しい」との声は依然としてあり、相模原市はこの切実な声にこたえるべきです。</p> <p>計画ありきで進めるのではなく、住民の声に耳を傾けて下さい。</p>	ウ
109	<p>診療所をなくさないで下さい。条例改定を急がず、さらなる改善と検討をして下さい。旧津久井地域は、高齢化が進み、今ある診療所がどうしても必要です。ずっと残して下さい。高齢者の期待、希望を裏切らないで下さい。</p>	ウ
110	<p>診療所を残してください！！住民の切実な声を無視しないで下さい！</p>	ウ
111	<p>たまにしか家から出ないが、診療所だけには頑張っていこうと思っているお年寄りがいるのではないのでしょうか。</p> <p>是非是非診療所の統廃合を考えなおしていただけないのでしょうか。</p> <p>私もいずれ病院しか外出する用事がない、などという環境になってきます。その時診療所があれば頑張れる気がするのです。</p> <p>ご一考頂ければありがたいと思います。よろしく願いいたします！</p>	ウ
112	<p>オンライン診療の他何か、送迎とか、あるいは訪問診療等の配慮が具体的に計画されているのでしょうか？具体案があるのであれば示して下さい。診療所存続を希望します。結論を急ぐのではなく、地域住民の立場（車に乗れない高齢者・独居住者の身）になって市政に取り組んで欲しいです。</p>	ウ

113	<p>足、腰、内臓など少しずつ、動くのが痛みを伴いつらくなってくる。少々の坂や登りも頑張ってきたのが、痛みで眠れなくなる時、思い切って出かけ診療所での受診は薬とともに安心をもたらしてくれます。医師や看護師との会話や励ましが生きる力を引き出してくれます。市の財政が200億円以上の黒字の時、「6か所の赤字の合計1億円だから、この先考えると、とても不安だから」と考えた提案が、これなのですね。「先の短い人たちに歩いて行けてた診療所を無くす。もっと使い手のあることにふりわけましょう。」というのでしょうか？想像してみてください。雨、風の中を、雪の積もった中を、炎天下を遠くなった道を足を引きずって歩く。自分の姿でもありますね。「新しいところまで送迎用のバスを、せめて1日往復2本ずつでも、なんとか動かします。」とか「タクシー券計画しています。」とかうれしい計画が話し合われているのでしょうか？そうならばここに住んで、しっかり守られている高齢者の姿は未来の若者の姿ですよ。大企業や富裕層への応分の負担を引き出すことで、多くの政策が可能になっていくと思います。日本全体の政治のありかたも曲がり角に来ていると思います。地球の存続も地方自治でこそできる事。やらねばならなことがあると思います。真剣に話し合い行動することで未来を創っていきたいです。</p> <p>誰一人とり残さない改革の為に、条例を変えるべきではありません。条例については今のままで、必要な改修を行い、不便なところを住民が利用しやすいように改めてください。</p>	ウ
114	<p>「診療所残して欲しい」との要求は住民の圧倒的多数の声</p> <p>私は「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針」が出された以降、地域のみなさんとともに高齢化などが進む中で医療の充実に賛成しながらも「診療所の統廃合は医療の充実になじまない逆行する、診療所を残しながら医療の充実を」求め、宣伝、署名活動などをすすめてきました。この中では勿論、日常生活の中でも「診療所を残して欲しい」とした要求は切実で圧倒的住民の声です。これを真摯に受け止めていただきたいと思います。</p>	ウ
115	<p>津久井の根小屋は山坂の路ですので車がないと病院に行くのは無理です。皆が診療所を残してほしいとお願いしているのに相模原市の一方的な強引な進め方に対して不満を感じます。相模原市は診療所を残すためのお金はあると言うのならなぜ市民の願いを聞いてもらえないので</p>	ウ

	すか。	
116	「方針」が決定されたとはいえ「診療所を残して欲しい」との声は依然として圧倒的であり、相模原市はこの切実な声にこたえるべきです。「条例の改定」は急がないでください。	ウ
117	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たち高齢者にとって身近な医療機関、千木良診療所は絶対必要です！！「統廃合、絶対反対！！遠い病院より近くの診療所」</li> <li>・ 急に具合が悪くなったとき、電話一本ですぐに診てもらえ、年寄りを抱えていても、安心して生活ができましたけど統廃合してしまったら年々歳を重ねて行く私にはこれから先が不安です。</li> <li>・ 市議の皆さん、選挙の時は大事な（住民）一票を託したのですから今度は私達住民の声の代弁者として住民の声を行政に強く訴えて下さい！！お願いします。</li> <li>・ 診療所の存続！身近な医療機関、千木良診療所は絶対必要！！</li> <li>・ 統廃合、絶対反対！</li> </ul>	ウ
118	緑区民会議や津久井やまゆり園に行く時に日連診療所の廃止反対など旗がたっていますが、相模原市立診療所や国保診療所を、市立を廃止して国保診療所にすること、統廃合することに対して、もっと旧町民に対して、説明すること。	ウ
119	「方針」が決定されたとはいえ「診療所を残して欲しい」との声は依然として圧倒的であり、相模原市はこの切実な声にこたえるべきです。条例改正しないでください。	ウ
120	地域の診療体制の強化が必要な時期に内郷診療所へ移る事は高齢化社会の置き去りを感じます。内郷診療所も通院は予約三か月に一度です。その時先生の面談と薬をもらいます。具合が急に悪くなった時は救急車対応しか対応がありません。	ウ
121	千木良診療所について地域の人達も頑張っている。私達高齢者の願いを本当に心から聞き入れてほしいと思っています。診療所のなくなることが一番不安です。もう一度良い方向になるよう願っています。	ウ
122	診療所を現在のまま残し、オンラインを含めて医療体制を充実してください。まだ、未解決問題がありますね。その解決まで条例化はやめてください。	ウ

123	<p>千木良診療所の内郷診療所への統合に反対です。</p> <p>千木良診療所の地域住民の願いと運動によって設立された経緯があり、地域住民の命綱というべきかけがえのない医療施設です。千木良診療所を廃止せずに残して欲しいという声は地域住民の願いであり、市はそうした診療所設立に至る歴史と地域住民の声を尊重して千木良診療所を存続させ、そこを拠点にして千木良地域の医療体制の維持と充実に取り組むべきだと考えます。</p> <p>診療所の統合・廃止は地域住民の健康と命に直接かかわる問題であり、住民の診療所が無くなることへの不安と「診療所を残してほしい」という願いは切実です。それを無視して、診療所廃止の方針を押し付けることは住民不在の市政運営だと言わなければなりません。住民の声は聞いておくだけでなく、市政に反映してこそ意義があります。</p> <p>地元住民との合意が形成されないまま強引に診療所を統合・廃止することになれば、旧相模原市域の市街地の大型開発が優先される一方で、市街地から遠く離れた高齢化と過疎化の進む旧津久井地域の中山間地は切り捨てられるのではないかという不安を招き、市政に対する信頼と相模原市民としての一体感を失わせ、今後の市政運営に大きな禍根を残しかねません。地元住民との合意形成に真摯に取り組み、診療所の再編統合を強行することのないよう強く要望します。</p>		ウ
124	<p>診療所統廃合、困ります、反対です。安心して住めると思っていたのにこれから先どうしようかと思ってしまう。</p>		ウ
125	<p>診療所の統廃合は困ります。政令指定都市になって、まさか命に直結する重大なことを削り、私たちの声を無視する事はひどいです。</p>		ウ
126	<p>診療所統廃合、オンライン診療の導入について</p> <p>診療所を残してほしいと云う地域住民の切ない声は事ある度に発していますが、行政の方々は身になって考えてくださっているのでしょうか??</p> <p>高齢になり、車の運転はできない、タクシーはない（近い距離は応じてくれない）バスもかなり間隔が遠い！</p>		ウ

	<p>このような地域の住民は行政から見放されたような不安さえ感じます。</p> <p>市議、県議、そして市長、他、行政を担っていらっしゃる方々、どうかご自身の高齢の両親に置き換えてもう一度考え直してください。</p> <p>高齢者もこの相模原でよかったと思える安心をください。どうぞよろしく願いいたします。</p>	
127	<p>診療所が減るのは困ります。お年寄りを置きざりにして勝手に条例改正をしないで下さい。条例改正前にやるべきことがあります。</p>	ウ
128	<p>のんびり余生を過ごしたくて、診療所の近くへ引っ越して来たばかりなのに、安心した生活ができなくなりました。高齢者のストレスがなくなる様、診療所の存続をお願いします。</p>	ウ
129	<p>バスの本数も減り、タクシー会社も廃業して自分の足で歩いて行ける医療機関がないということは、これからどうしたらいいか不安です。同じ相模原市民ですが、地域によって差ができて切り捨てられたように思います。ぜひ医療難民が出ないようにお願いします。</p>	ウ
130	<p>マイナンバーカード、オンライン診療と老人たちには難解の事ばかり。今まで通り診療所を残していただきたいのです。</p>	ウ
131	<p>全国的に中山間地域の持続な医療の在り方など新聞やニュースで語られていますが、中山間地域の人だけが今まで以上に不便になる事に対して、年をとっている私達には、日常生活に不安の感じるだけです。今まで歩いて千木良診療所にいける事がなにより安心して生活出来る事なのです。全体に診療所をなくさないで下さい。大都市にくらべれば小さな町の診療所です。その診療所が削減が確実になくなれば将来不安が残るだけです。</p>	ウ
132	<p>何代にもわたって、住む土地を守り、地域になじみ、長きにわたり住み慣れた居場所であり、終のすみかであるはずの「地」で安心して住み続けられない不安は生きる力を無くしてしまうのではないかと、想像します。なじんだ診療所の看護や介護に携わる方々のぬくもり、息づかい、優しい見守りが必要と思われます。</p>	ウ
133	<p>市の診療所再編に反対します。住民の声に耳を傾け、再編せずに現行の診療所をそのまま存続させ、診療体制を強化し存続してください。</p> <p>市は、住民説明会で多くの参加者から出された現行の診療所の存続と医療の充実の声をなぜ、</p>	ウ

	受け止めないのですか。旧津久井地域は、山間部で水と山の資源豊かな地域です。市の掲げる潤水都市の在り方そのものです。この地域は、高齢化が進んでいます。住民は、この街に住み続けたいと願っています。この地域を若い人達に引き継いで行きたいと願っています。高齢者も若い人も住み続けるためには、現行の診療所を存続させ、さらに診療体制の拡充が欠かせません。		
134	条例改定を知らない人も多いです。みんなが健康で安心して暮らし続けられる市政、住民の声が反映される市政をお願いします。		ウ
135	仮に「条例を改正し統廃合する」にしてもその前に解決しなければならない課題がいくつかありますね。ですから「改正」は急ぐべきではありません。		ウ
136	中山間地域は人口減少と高齢化が進み、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、医療施設が近傍にあることが求められています。診療所をなくさないでほしいとの声は、すでに市側に多数届けています。弱者の意見を聞くことは行政の基本です。条例の改正案に関する意見書を求めているのは、この間の住民の切実な声を聞いても、無視するという市側の態度の表れではないですか。 意見書を出すことに虚しさを感じますが、まずは統廃合ありきの結論を拙速に決めないでください。		ウ
137	私たちの声を聞いてください。条例化を先延ばしにして課題を解決・見通しが立ったらその時点で再検討してもいいと思います。宜しくをお願いします。		ウ
② オンライン診療の推進について			
138	オンライン診療を取り入れるとしています。 山間部のため電波が届かない地域、統廃合された場合の通院手段の在り方、薬のもらい方、診療代の支払い方などなど、解決しなければならない問題が残されています。統廃合を前提にした「条例の改定」は急ぐ必要はありません。	中山間地域においては、高齢化の進行等に伴い在宅医療の需要の増加が見込まれる中で、訪問診療や往診による在宅医療等を効率的に実施できる体制とするため、市所管の診療所について、原則として地区ごとに1診療所に統合し、医師を	ウ
139	オンライン診療を取り入れるとしています。山間部のための電波などが届かない地域、統廃合された場合の通院手段の在り方、薬のもらい方、診療代の支払い方などなど解決しなければな		ウ

	らない問題が残されております。統廃合を前提にした「条例の改定」は急ぐ必要はありません。	2人体制とすることとしています。	
140	オンライン診療を取り入れるとしています。山間部のため電波などが届かない地域、統廃合された場合の通院手段の在り方、薬のもらい方、診療代の支払い方などなど解決しなければならない問題が残されております。統廃合を前提にした「条例の改定」は急ぐ必要はありません。	訪問型オンライン診療については、外来診療や訪問診療など対面での診療を行う中で、医師・患者の負担軽減等に繋がる一つの診療方法として検討しているところ。	ウ
141	オンライン診療も導入し、診療所に通わなくても良いようにすると説明していますが、現在行おうとしているオンライン診療では、病気の早期発見や治療は難しいのではないかと思います。例えば血液検査や尿検査は病気の原因を突き止める重要な検査だと思いますが、このような検査はどうするのでしょうか。また医師が直接患部を診たり触ったりすることも大事で、画面でのやりとりだけでは見逃してしまうのではないかと不安です。 このような疑問や心配が払拭されるような状況になるまで、診療所の統廃合は急ぐべきではないと考えます。	本年度、「訪問型オンライン診療」の実証事業を実施し、医療従事者及び患者の理解促進と一定の体制づくりができたと考えておりますが、実証の中で確認された課題もあることから、引き続き、より地域に合った実施方法に改善を図るべく検討を進めてまいります。	ウ
142	自分はまだ若いとは思ってはいても、じきに高齢者、いやすでに前期後期とすると前期高齢者である。そしてアナログ人間であり、オンライン診療なるものは苦手である。やはり、お医者様と向かい合って顔を見て診察してもらいたい。多分、いくつになってもそう思う。診療所に行かれていた方がそうは思わないだろうか。たわいもないおしゃべりをしたり、最近の様子を詳しく聞いたりして、心の通った視察をしてもらいたい。	なお、国の「オンライン診療の適切な実施に関する指針」においては、オンライン診療をする際には対面診療を組み合わせるということが求められており、また、検査や治療を行う場合などは医療機関で受診していただく必要があることから、	ウ
143	地域病院オンライン診療は高齢者や重症患者にはハードルが高いです。病状によっては急を要する検査、治療等が必要な場合どのようにするのでしょうか？	「地域おでかけサポート推進事業」など、既存の移動支援策の活用を促進するとともに、移動手段の確保に努めてまいります。	ウ
144	未解決問題がある段階で「条例化」は急ぐべきではないと考えます 相模原市も認識されているようですが、オンライン診療を進める上で山間部で電波などが届かない地域も残されています。この電波問題は通信会社との相談にもなり、一定の時間も必要でしょう。この他、統廃合された場合の通院手段の在り方、薬のもらい方、診療代の支払い方などなど解決しなければならない問題として残されております。こうした未解決問題がはっきりしない段階で「統廃合を前提にした条例の改定」を急ぐ必要はないと考えます。		ウ

145	<p>特に、オンライン診療やモバイルクリニックの導入が検討されているとはいえ、その実績がまだ確立していない段階で診療所の統廃合を決定することには、住民の健康と医療アクセスに対する重大なリスクを伴うと考えます。地域住民の安心・安全を守るためには、オンライン診療などの実績が確立するまで診療所の統廃合を一時的に見合わせ、代替策を検討することが最も重要です。住民の声に耳を傾け、慎重に検討を重ねていただきますよう、強くお願い申し上げます。</p> <p>以下に、その理由を述べさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オンライン診療やモバイルクリニックの導入実績がない段階での統廃合は早急すぎる        オンライン診療は、確かに医療の未来において重要な役割を果たす可能性がある技術です。しかし、現時点ではその導入実績が十分に確立されておらず、特に過疎地での実施には課題が多いのが現実です。技術的な問題やインフラ整備が不十分な状況で、診療所の統廃合を進めることは、住民が必要な医療を受けられなくなるリスクを高めます。</li> <li>2. オンライン診療がすべての住民に適応できるわけではない        オンライン診療には利便性がありますが、全ての住民がその恩恵を受けられるわけではありません。特に高齢者やIT機器に不慣れた住民にとって、オンライン診療を利用することは困難です。加えて、医師と患者が直接対面することでしか解決できない問題も多く、対面診療が依然として重要な役割を果たす地域では、オンライン診療だけでは医療ニーズに対応しきれません。</li> <li>3. 地域住民の不安を無視した決定は信頼を損なう        オンライン診療の導入が不確実な段階で診療所の統廃合を進めることは、住民の医療への信頼を損なう恐れがあります。住民にとって、診療所は身近な医療サービスの提供場所であり、その存在は安心感を提供しています。オンライン診療が確実に普及し、地域住民がその利点を実感するまでの過渡期において、診療所を閉鎖することは住民の医療アクセスを不安定にし、医療の質を低下させる可能性があります。</li> </ol>	ウ
146	オンライン診療によるメリット、デメリットなどの情報はどのようなことがあるのか、住民に	ウ

	詳しく説明されているのか？ 高齢化が進んでいる今オンライン診療は、いかがなものか。	
147	オンライン診療の導入は年寄りには何を言われているかわからない。やめて下さい。	ウ
148	「オンライン診療の導入」とありますが、テレビと固定電話しなくてもできますか？お医者様に直接聴診器をあててもらわなくてもわかるのですか？おおよその診断で誤診や手遅れなどの心配は？おおよその診断でも薬は処方されるんですよね？それをいただきに結局、病院や薬局に行かなくてはいけないのですね。どんなに熱があっても、体調が悪くても…。 高齢になるまで、相模原の山間部に住んでいるとこんなに住みづらくなってしまうとは、とても残念。税金は平等に取られていると思いますが	ウ
149	タウンニュースでも、オンライン診療に関する記事が載っており（2024年12月版）医療体制を充実させたり、通院が難しい高齢者世代の方々への配慮にはつながるだろうとは思いますが、コストや人件費がかかたりする問題も起こりかねないの言うまでもありません。	ウ
150	私達後期高齢者に取りましてはオンライン診療スマートフォンなど、またタブレット、パソコンなどを使って自宅等に居ながら医師の診察や薬の処方が受けることが出来るといっても高齢者にとりましてはまったく不可能な事です。死活問題です。ですから何んといひましても存続をお願い致します。どうか宜しくお願い致します。	ウ
151	オンライン診療を受けるにはスマホを持つこと、スマホが使えることが最低条件になるかと思いますが、年齢の高い者にとってわずらわしさの+αは悩みのたねでもあります。約束の時間の遅延などもストレスとなります。（それは通院している時も同様ではありますが）	ウ
152	オンライン診療など誰もがすぐ利用できると考えているのでしょうか。再考を切に望みます。	ウ
153	オンライン診療を取り入れたとしても果たして100%の高齢者が満足できる診療を受けることが可能でしょうか？	ウ
154	これからはオンライン診療を取り入れていくようです、藤野地域等電波障害があるところもあります。受診後、診察台支払いはどこに、処方箋（お薬）はわざわざ外に貰いに行かないといけないという不便さもできます。医師が二人いるのなら、往診に来て頂いたらいいのではな	ウ

	いでしょうか。金額はどのくらいになるのかも知りたいです。患者さんや家族は直接医師から診て頂いたことにより、病気が治ったみたいな安心感を持ちます。病気治療をしたことがある方ならわかると思います。		
155	オンライン診療などは年寄りには難しいです。		ウ
156	私は診療所を残すべきと思います。旧津久井は何せ高齢者が多いからです。しかも診療所を無くしてオンライン化するためにはまだ多くの課題があると聞いています。		ウ
③ 統合先の診療所の改修等について			
157	市の計画で残る藤野診療所（昭和36年築）は小高い丘にあり坂を登って行かないといけません。見通しの悪いトンネルがあり、反対には踏切があります。交通面も悪く「送ってもらった、帰りはバス停まで歩き」…不便なところにあります。日連と藤野が統廃合すると？医師2人になる…現在診察室は一室、空きスペースはありません。そして、トイレは男女一緒の和式です。老朽化し使い勝手の悪い診療所は大通りに面した平坦な所に新設すべきと診察に来た方たちは口々に望んでいます。私もそう思います。市長始め、職員は市民の願いにお金を掛けて寄り添うべきです。	藤野地区の診療所再編に向けて、昨年6月に藤野及び日連診療所において、統合後の診療所に必要な設備等について利用者アンケートを実施し、待合室や駐車場の拡充、検査機器の充実等に係るご意見をいただきました。 現在は、当該アンケートの結果や、統合先となる藤野診療所の老朽化の状況、建物の規模等を踏まえ、既存の公共施設の活用や、現在の診療所の改修など再整備の手法について、比較・検討を進めているところです。 なお、現状においても、藤野診療所には洋式トイレを設置しております。	ウ
158	藤野診療所は、狭い駐車場、男女で使用する古いトイレで高齢者は大変です。「統廃合」前に使いやすい水洗式便座型のある、今の時代に合った診療所にして下さい。		ウ
159	藤野診療所は駐車場も狭く、トイレも男女一緒に和式だと聞いて驚きました。		ウ
160	藤野診療所の改修、駐車場、トイレの改善は別の場所に建てかえでして下さい。		ウ
161	診療所が統合されたとしても、すぐに解決せねばならない事はいっぱいですね。診察室の追加。待合室を広げる。駐車場は？などなど。一つ一つ丁寧に作って行ってください。半年で交代してしまう先生。なかなか難しいことだらけです。日本中で起きている問題全部集まっているようです。大きな理想に向けてがんばってください。	診療所の再編にあたりましては、可能な限り医師が長く従事できる体制づくりに努めるとともに、統合先となる診療所の改修等を行ってまいります。	ウ

162	統合される診療所の設備、待合室、駐車場の拡充、待ち時間の解消も必要です。		ウ	
④ 医療従事者の確保について				
163	医師をはじめ医療関係者の確保は国、地方自治体の仕事として最大の努力をお願いします。必要なお金も優先して手当して下さい。	市では、医師が従事する市所管の診療所を、原則として地区ごとに1診療所に統合し、医師2人体制とすることとしております。 中山間地域で従事する医師を安定的に確保するため、毎年多額の市費を投じながら「地域医療医師修学資金貸付事業」等の市独自の医師確保策を実施しており、その取り組みは今後も継続していく必要があるものと考えています。 国や県に対しては、今後もその動向を注視しながら、引き続き、財源の確保や医師偏在の是正等についての必要な要望等を行ってまいります。	ウ	
164	過日（12/25）、厚生労働省の「医師偏在の是正等」の「対策パッケージ」を決定した。2026年度には、本格的実施を目指している。この国の動向を踏まえて、改めて市の「基本方針」を見直して欲しい。仮に、国の政策で医師派遣が得られても、既存の3診療所が廃止され、ハード面（建物等）が無くなった場合は最悪の事態と言えます。「基本方針」推進を一時停止・中止して、国の「対策パッケージ」の動向に注視することを希望します。		ウ	
165	診療所の統廃合は行政が市民の命を奪う行政殺人行為です。医師不足・予算不足を解消する対策として下記提言します。 防衛という名で世界の市民の命を奪う武力行使軍事費の削減と自衛隊内医療資源・人材を地域医療に移管することをまず相模原市から国家に求めましょう。		ウ	
166	年寄りが人生を全うしようと望んでいるのに1日1日と日が経つのにしたがって生きるのが心細くなっていく。どんどん生活がおびやかされていく。診療所を減らすなんてもってのほか。医師を確保して、そして看護師、事務員を揃えるのは政治の責任ではないか。		ウ	
167	診療所6つすべて残して下さい。お医者さんを確保することにお金を使ってください。		ウ	
168	地域の医療がなくなることは生命に関わる問題です。行政が相模湖町の時には町立診療所の医師を選ぶ時には町の職員が医師の勤務先の病院に何度も足を運び説得して地域医療に貢献した経緯がありました。地域住民の医療はかけがえのない重要な問題です。地域に住む住民、市民をアメリカのラストベルトの人々のように見捨てないでほしいと思います。		ウ	
169	僻地（高齢化・交通手段が悪い・電波状況も悪い）だからこそその手厚い医療体制を望みます。人手不足をロボット化・OA機器化に予算を充てるのではなく、医師や医療従事者の人材確保に予算を充当してください。		ICT（情報通信技術）等の活用と、医療従事者の確保はともに重要なものと考えており、そのために必要な資源（医療資	ウ

		源・財源)を市所管の診療所の再編により生み出すものです。	
170	診療所、私が通院しているところでは、医師が半年から1年でよく変わるのも困ります。でもとにかく診療所がなくなると不便です。	可能な限り医師が長く従事できる体制づくりに努めてまいります。	ウ
⑤ 効率化と財政負担について			
171	行政のコスト削減策が地域住民の生活や健康を脅かすことのないよう、慎重に再検討していただきますようお願い申し上げます。	津久井地区、相模湖地区及び藤野地区の中山間地域では、高齢化の進行等に伴う通院が困難な人の増加や生活習慣病の重症化等のリスクの増加、人口減少等を背景とした受診者数の減少、医師・看護師等の医療従事者の安定的な確保が難しいことなど、医療に係る様々な課題が生じております。 これらの課題に対応するため、令和6年2月に策定した「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針」に基づき、市所管の診療所を、原則として地区ごとに1診療所に統合して再編することにより生み出すことができる資源（医療資源・財源）やICT（情報通信技術）等を活用し、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して医療が受けられる持続可能な医療提供体制の確保に資する取組を推進するものであり、コスト削減を目的としているものではなく、	ウ
172	市の「行財政構造改革プランの撤回」は「診療所の統廃合方針」も撤回すべきと考えます。今度の「条例改正は基本方針に基づき在宅医療などを効率的に実施できる体制を準備するため」としていますがその土台となったのが2022年の「相模原市行財政構造改革プラン＝このまま市の財政運営を進めると2027年には財政破綻が避けられない――として市財政の効率化・見直し」を図って進められてきました。その具体化として南区市民センターの廃止、障害者への補助金のカットなどなどが実行されてきました。この効率化と一緒に検討されたのが「効率的に医療体制を準備する」として診療所の統廃合方針が決定されたことは間違いない事ではないでしょうか。ところが相模原市は2024年10月に財政が好転したので「行財政構造改革プランは前倒しで取りやめる」と発表しました。この事は一言でいえば22年の「行財政構造改革プランの決定は見通しの甘さ、誤りだった」ことを認めたとと言っても過言ではないでしょう。だとすれば「プラン」の一つとして診療所の統廃合問題も「行財政構造改革プラン」決定前にたちかえり再検討するのが当然と考えますがいかがですか。 事は命、健康にかかわる大問題です。この分野は「効率化」の対象にしてはならない分野だと思います。くれぐれも間違いのない判断をお願い致します。		ウ
173	市は中山間地の診療所を再編統合しようとする理由の一つに、医療従事者の確保が難しいことをあげていますが、診療所を半分に減らして医師を複数配置にすれば、必要となる医師の数は同じで、医師を確保する難しさは今と変わらないことになります。持続化云々とは言うものの、結局、旧津久井郡の中山間地の藤野、相模湖、津久井の各町に診療所が二か所ずつあるの		ウ

	<p>は非効率であり、今の医療体制を再編統合することで、中山間地の医療体制をスリムにし、その維持に必要な経費を減らしたいというのが本音なのではないでしょうか。</p> <p>医療行政は、効率化や持続化よりも市民の命と健康を守ることを優先させるべきです。市が言うように、診療所の再編統合は夕張市のような財政上の理由によるものではないとするなら、診療所の再編統合をことさら急ぐ必要はありませんし、地元住民の意思を無視してまで強引に計画を進める必要もありません。市は、地元の住民の意思を尊重して千木良の診療所を存続させ、そこを拠点にして地域の医療体制を充実させ、地域を活性化させる施策にこそ取り組むべきだと考えます。</p>	<p>従前の「行財政構造改革プラン」に基づく取組として行うものでもありません。また、国は、良質かつ適切な医療を効率的に提供するための医療法等の一部を改正する法律（令和3年法律第49号）により、令和6年4月の医師に対する時間外労働の上限規制の適用の開始にあわせ、医師の労働時間の短縮及び健康保持のための制度の創設や、医療関係職種の業務範囲の見直し等を行うなど、医療従事者の側面からも、地域における良質かつ適切な医療提供体制の確保を図ってきたところであり、このような背景からも医療行政における「効率化」の視点は必要であると考えております。</p>	
174	<p>命を守るために、予算がないとは決して言わないでほしい。開発には多大な予算が計上されるのではないですか？環境保全や診療所継続で命を守ることは非効率ですか？コスト的に問題がありますか？税金の使い方を考えてください。都市の人に自慢できる田舎ではだめですか？</p>	<p>なお、橋本駅南口のまちづくりは、圏央道、リニア中央新幹線などの広域交通ネットワークの形成に伴う経済・交流圏域の拡大を生かし、「人や企業に選ばれる都市づくり」を進めることで、まち全体の交流人口や昼間就労人口の拡大が図られ、経済の活性化や税収増により、持続可能な都市経営の推進に寄与するものと考えております。</p>	ウ
175	<p>市には、289億円の財政調整基金、積立金があります。この基金のごくごく一部を活用すれば、現行のままの診療所を存続させ、さらに必要な意思を確保し、医療体制を拡充することは、可能ではありませんか。市は、地域住民の声を真正面から受け止めてください。</p>	<p>なお、橋本駅南口のまちづくりは、圏央道、リニア中央新幹線などの広域交通ネットワークの形成に伴う経済・交流圏域の拡大を生かし、「人や企業に選ばれる都市づくり」を進めることで、まち全体の交流人口や昼間就労人口の拡大が図られ、経済の活性化や税収増により、持続可能な都市経営の推進に寄与するものと考えております。</p>	ウ
176	<p>相模原市の長期財政収支の試算で、歳出超過が816億円見込まれていたため行財政構造改革プラン（市民サービスを削り、負担を押し付けるもの）が実施されました。しかしこのプランは、年度黒字が続き終了しました。市がため込んでいる財政を何に使うかが、今問われています。市民の命と暮らしを守り、福祉の向上のために使うことを、第一に考える必要があります。</p> <p>中山間地域住民の「近くの診療所を残してください」の要求は当たり前の声です。財政的にも市が行おうとしている橋本駅周辺の開発事業の無駄を削れば賄えます。京王線の橋本駅移設を推進しなければ、旧相原高校跡地のJR東海リニア駅の上に道路を造る必要は全くありません。そうすれば大西大通り線も新設ではなく、現道の大西線の拡幅で十分です。なぜこんな壮大な無駄をするのでしょうか。市民はこんな無駄な道路を造るだけの、橋本駅周辺開発は望んでいません。いつまでも住み続けられる津久井、相模湖、藤野にしてください。</p>	<p>なお、橋本駅南口のまちづくりは、圏央道、リニア中央新幹線などの広域交通ネットワークの形成に伴う経済・交流圏域の拡大を生かし、「人や企業に選ばれる都市づくり」を進めることで、まち全体の交流人口や昼間就労人口の拡大が図られ、経済の活性化や税収増により、持続可能な都市経営の推進に寄与するものと考えております。</p>	ウ

⑥ 健康づくりについて			
177	住民が健康面でも安心していただける町に住みたいのは今の日本では当然の願いと思います。	市では、「自らの健康は自らつくる」を基本とし、ご自身の心身の状態に応じた健康づくりに生涯にわたって積極的に取り組むこととし、さらにこの取り組みを市、事業者、保健医療関係者、健康づくり関係者が連携し、協力することにより、健康づくりを進めるための必要な支援と社会環境の整備に取り組むことを健康づくりの基本理念に置いて、各種施策を進めているところです。引き続き、健康づくりに関する総合的な施策の推進に努めてまいります。	イ
178	”人生100年時代”と言われている昨今ですが、いくら長生きしたとて、健康でなければ本当の幸せとは言えないと思います。 自分の力で歩き、食べ、しゃべり、普通の日常生活をおくるには、個人個人の健康管理や心がけはもちろん大切ですが、医療のありかた、行政の助け等がとても大切な事だと考えています。		イ
⑦ その他			
179	診療所が徒歩で行けるところにあれば有難い	現状においても診療所に徒歩で通うことが困難な地域が多く存在する中で、全ての市民が徒歩で診療所に通える環境を整備することは難しいものと考えております。 市では、今後の在宅医療の需要増に対応できる体制の充実と、診療所の安定的な運営を図るため、市所管の診療所を、原則として地区ごとに1診療所に統合して再編することとしております。 なお、中山間地域における移動手段の確	ウ
180	近くに診療所があれば、とても安心して暮らしが出来ます。		ウ

		保につきましては、通院のみならず買い物や日常生活全般における地域全体の課題として捉える必要があることから、関連する交通や福祉の政策と一体的に取り組む中で、「地域おでかけサポート推進事業」等の既存の移動支援策の活用を促進するとともに、その対応に努めてまいります。	
181	<p>この間、市民の意見を聞くための意見募集が行われてきましたが、出された意見がどう検討されたのか、取り入れられなかった理由は何かなどあまり聞いたことがありません。</p> <p>今度の「診療所問題」でも説明会などで意見を出してもどう検討されたのかはよくわかりません。</p> <p>市民がもう少し広く「結果」などを知ることができるよう改善してください。今度のパブリックコメントの意見を最大限取り入れ、検討結果についても市民が知る事ができるようにお願いします。</p>	市が所管する診療所の再編の進め方を含む「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針」につきましては、様々な場面でいただいたご意見を重く受け止め、そのうえで市として議論を行って策定したものです。これまでに実施したパブリックコメントの結果や検討の経過、市での議論の内容等につきましては、市ホームページにて公開しております。	ウ
182	これから1日、1日歳を重ねていく中山間地域の方たちが、この地に住んで本当によかったと思ひ、子や孫もこの地に住み続けられる市政をぜひ実現してください。	市では、「中山間地域対策」に重点的に取り組んでおり、地域活性化や地域コミュニティの維持を図りながら、社会情勢などの変化に適応したまちづくりを進め、将来にわたり安心して暮らせる環境をつくることを目指しております。	イ
183	千木良には一人居の閉じこもりの外部と交流のない方がいます。この方達のケアをどの様に考	高齢者や引きこもりなどの単身世帯が増	ウ

	<p>えているのでしょうか？今日も死体で発見された方がいらしたそうです。</p>	<p>加しており、日常生活において、孤独・孤立を覚える人が増えていると認識しています。本市では、民生委員等の戸別訪問により、一人暮らし高齢者の生活状況の把握に努めるほか、包括的支援体制の整備を進めており、分野横断的に課題発見と支援に取り組むアウトリーチ型の相談支援体制により、一人暮らしでも安心して生活できるよう取り組んでいるところです。</p>	
184	<p>先日の神奈川新聞で横浜市は運転免許証返納後3年間の交通を無料にするとの報道が出ていましたが、相模原市ではどのように考えているのですか？</p>	<p>高齢者が交通機関を利用する際の補助制度につきましては、身近に交通機関が利用できる方とそうでない方との公平性や財源の確保などの課題があるため、高齢者等の移動を支援する地域活動に対して「地域おでかけサポート推進事業」を実施するなど、地域の社会資源を活用した支援を行っております。</p>	エ
185	<p>民間クリニックを誘致して続けてほしい</p>	<p>廃止後の診療所施設の利活用の検討にあたり、参考にさせていただきます。</p>	ウ